



単なる脅威ではなく、 ワールド・マーケットに 中国をどう組み込むか？

農業評論家

土門 剛

中国に進出した日本の農業関連企業の活動状況をまとめてみた。ジエトロ（日本貿易振興会）などが現地でのヒヤリングした調査結果などを参考に作成した。現地に独自進出なり合弁なりで会社登記した進出案件は2000年3月現在で118件、約240社に上った。進出企業のほぼ8割をカバーしている。その後も進出企業は相次いでいる。会社設立や出資をしなくても中国ビジネスを組み込んだ企業は多い。残念ながらそうした企業をすべて網羅することは不可能だ。

進出事例を分析すると、最初は現地の安い農産物の買い付けに始まり、次に加工輸入に移っていくパターンが典型的。地域的には日本に近い山東省や遼寧省、それに上海近郊が多い。最近は生産資材の生産にまで進出企業が広がっているのもポイントだ。

なかでも中国が日本の野菜基地になつた影の主役は、江蘇省で農業用ポリエチレンフィルムの原料製造に踏み切ったみかど加工だと農業界ではいわれている。しかし、

なくとも中国ビジネスを組み込んだ企業は多い。残念ながらそうした企業をすべて網羅することは不可能だ。

進出事例を分析すると、最初は現地の安い農産物の買い付けに始まり、次に加工輸入に移っていくパターンが典型的。地域的には日本に近い山東省や遼寧省、それに上海近郊が多い。最近は生産資材の生産にまで進出企業が広がっているのもポイントだ。

中国進出で今後注目されるのは、生産資材の日本向け輸出だ。中国で開かれる農業資材展には多数の資材業者が参加していた。中國で生産された園芸資材の日本向け輸出のビジネスチャンスを探っているのだ。九州では韓国産の園芸ハウスを、建設のための労務者とセットで輸入する動きも出ている。安い中国産の園芸資材を九州

ビニールは中国浙江省寧波市に園芸パイプを生産する子会社を設立している。北京五輪を睨んで緑化事業が増えるとにらみ、花の苗などを生産するハウスの需要が増えていることだと判断してのことだ。

中国進出で今後注目されるのは、生産資材の日本向け輸出だ。中国で開かれる農業資材展には多数の資材業者が参加していた。中國で生産された園芸資材の日本向け輸出のビジネスチャンスを探っているのだ。九州では韓国産の園芸ハウスを、建設のための労務者とセットで輸入する動きも出ている。安い中国産の園芸資材を九州

によれば、中国のハウス面積は日本に比べ17倍に達したという。同じ江蘇省には山村産業が野菜の水耕栽培を始めている。収穫された野菜は大半が日本市場向けになる。

この表にはないが福井県の第一芸バイオを生産する子会社を設立している。北京五輪を睨んで緑化事業が増えるとにらみ、花の苗などを生産するハウスの需要が増えていることだと判断してのことだ。

中国進出で今後注目されるのは、生産資材の日本向け輸出だ。中国で開かれる農業資材展には多数の資材業者が参加していた。中國で生産された園芸資材の日本向け輸出のビジネスチャンスを探っているのだ。九州では韓国産の園芸ハウスを、建設のための労務者とセットで輸入する動きも出ている。安い中国産の園芸資材を九州

にはまだ達していないらしい。ただ同社の進出によって、中国のハウス園芸が一気に普及したのは事実である。日本農業新聞の記事によれば、中国のハウス面積は日本に比べ17倍に達したという。同じ江蘇省には山村産業が野菜の水耕栽培を始めている。収穫された野菜は大半が日本市場向けになる。

農薬メーカーの進出も活発だ。日本化薬は大連にトーメンと共同で農薬の製造販売会社を設立。肥料は三井物産と三井物産アグロビジネスが有機複合肥料の製造と日本向けの販売会社を作り現地進出している。有機質肥料を扱う会社の進出も目立つ。この分野でのパイオニアは清和肥料だ。日本向け各種肥料で住金物産は現地に大規模な生産拠点を持つている。有機農業も中国を抜きに語れなくなっている。

地区の農協が取扱い始めたという情報もある。また某大手商社は中国産の肥料を輸入。ホームセンタなどで超割安価格での販売を始めた。

農薬メーカーの進出も活発だ。日本化薬は大連にトーメンと共同で農薬の製造販売会社を設立。肥料は三井物産と三井物産アグロビジネスが有機複合肥料の製造と日本向けの販売会社を作り現地進出している。有機質肥料を扱う会社の進出も目立つ。この分野でのパイオニアは清和肥料だ。日本向け各種肥料で住金物産は現地に大規模な生産拠点を持つている。有機農業も中国を抜きに語れなくなっている。

農業関連で最初に中国に進出したのは、サカタのタネと日商岩井は、江蘇省に坂田種苗を設立、種子の生産・販売・育種をスタート。山東省に進出したのはタキイ種苗。ハイブリッド品種栽培、実験農場を開拓している。この表にない九州の種苗会社は採種のため中国に農地を取得している。

中国に製造拠点を持つ日本の農業関連企業

企業名	出資比率	事業内容
北京京日食品(有)	東京国際貿易53%	農産物利用による半加工製品 (あずき餡塩蔵野菜等)の製造輸出
北京聯合包装(有)	レンゴー60%	段ボールの製造
北京・聯合印刷紙器(有)	レンゴー55% 豊田通商5%	高級段ボール紙器の製造
北京佐竹精麦麺粉公司	佐竹製作所41% 丸紅17%	製粉工場
北京宝酒造醸造(有)	宝酒造62%	焼酎・清酒・みりん等の製造
北京華藤示範米業(有)	佐竹製作所35% 大阪第一食糧16%	精米工場
華栄種苗(有)	サッポロビール40% 豊田通商9%	コショウランの新品種開発・生産販売
Cnampc(Tianjin) Agricultural Chemicals Co.Ltd	アース製薬70% 住友商事20%	農薬の製剤・小分・販売
天津ジャスマム農業食品(有)	ジャスマムテクノロジー12.5%	野菜・魚介類食肉等冷凍食品の製造
天津中谷酒造(有)	中谷酒造100%	清酒(原酒)の製造
天津聯合包装(有)	レンゴー60%	段ボールの製造
天津三協食品(有)	三協フード工業50%	冷凍食品の製造・販売
上海大申制粉(有)	群馬製粉10% 東洋糧穀10% 丸三米穀17% 岩谷産業10%	米粉加工・販売
上海菱農化工(有)	三菱商事67.5% 日産化学工業20%	農薬リパッキング・製剤
上海共福編織製品(有)	共立建設60%	畳表の製造・年産20万枚
上海共立編織製品(有)	共立建設80%	畳表の製造・販売、年産100万枚
上海聯合包装装潢(有)	レンゴー61.26% 伊藤忠商事15.52%	段ボール・紙管・紙関連包装製品の製造販売
上海日米食品化工(有)	群馬製粉25% 東洋糧穀25% 丸三米穀25% 岩谷産業25%	もち米精米加工
上海日申食品(有)	群馬製粉17% 丸三米穀17% 岩谷産業17%	穀粉・穀物加工品等の製造販売
上海三久機械(有)	静岡製機30%	穀物乾燥機生産
上海申万醸造(有)	キッコーマン	食料品の製造・販売
上海申畜畜禽(有)	住金物産60.2%	プロイラーの一貫生産及び販売
上海四国食品包装機械(有)	四国化工機70% CBC20% 植田酪農機工業10%	食品充填機・包装機械・機械部品の製造・総合エンジニアリング
上海天維亞編織(有)	ティビーアール100%	漁業用・農業用その他の機能性組ロープの製造・販売
上海小燕草製品廠	共立建設	畳表の製造・年産30万枚
住友化学(上海)(有)	住友化学工業100%	農薬の販売・技術普及・開発他
宇宙食品(有)	コスモス食品100%	乾燥野菜、レトルト食品の製造
保定榮日香辛料(有)	峯栄興業30% ニチメン30%	唐辛子を中心とした香辛料の加工製造・販売
中外合作大連先進化工公司	日本化薬21.05% トーメン21.05%	農薬の製造販売
大連長幸水產(有)	宝幸水產40%	農産物の加工販売
大連大栄水產(有)	宝幸水產50%	アワビの養殖及び水産物の買付・販売
大連木戸泉醸造(有)	トーカ100%	日本酒の製造・販売
大連糧紅食品加工(有)	丸紅50% 熊本製粉2%	小麦粉・小麦副産物及び他加工食品類の製造・販売
大連米可多新型農膜開発(有)	みかど化工25% 他15%	農業用ポリエチレンフィルムの製造・販売
大連木下食品(有)	木下食品95% 群馬友好貿易5%	コンニャクの製造・販売
大連日清製油(有)	日清製油65.12%	食用油の製造
大連理研マルハ(有)	理研食品70% マルハ30%	ワカメ等海藻類の加工
Dalian S & Bfoods Stuff Co.Ltd	エスピード食品45% 三井物産13%	チューブ入り練りわさびの製造販売
大連寿童食品(有)	コンフェクションナリーコトブキ54%	菓子製造・卸・販売
大成食品(大連)(有)	丸紅	プロイラー事業
遼寧北方食品(有)	ニチメン40% 太堀30%	山菜食品の製造
瀋陽北浅食品(有)	ユアサ商事25%	ホースラディッシュ関連商品の生産・加工
營口博日食品(有)	川鉄商事30%	缶詰など加工食品の製造
吉林省華雄食品(有)	大一電材30% 他40%	飼料用飼料の製造・販売
吉林省德惠佐竹金穂(有)	佐竹製作所	精米工場
延吉市大芸果品(有)	大一電材70%	農産物加工
黒竜江新錦精米加工(有)	ニチメン25%	精米の加工・販売
紅日種子実業(有)	群馬友好貿易25% サッポロビール25%	ビール大麦の開発
龍江飼草(有)	群馬友好貿易26.7%	家畜用牧草及び繊維飼料の生産販売
常州中吉工具(有)	吉田刃物100%	園芸用小グワの製造
江蘇米可多農膜開発(有)	みかど化工25% 他15%	農業用ポリエチレンフィルムの原料製造
金桜食品(有)	新東亜交易30%	農産物加工
小松全能(常州)機械(有)	コマツゼノア95% 日本エーホームーシー5%	農林業機械の製造・販売

たのは青果輸入業者だ。国内の产地集荷業者が中国野菜の輸入の先鞭をつけたケースが多い。ネギは大阪丸促青果、タマネギは、ダイエーの個人筆頭株主でもある兵庫の富永商事だ。レタスは農業資材が専門の東海物産が手がけ、スーパーや外食向けに販売している。

ちなみに中国産野菜の輸入は減ってきている。週刊誌メディアの「毒菜」キャンペーンが起いたのだ。週刊文春が中国産野菜を農薬輸入にブレークをかけてきた。大坂丸促青果は、中国産野菜のイメ

ージ回復のため生産履歴制度導入の検討に入った。国産と中国産との競争はあらたな局面を迎える。中国産畳表を最初に輸入したのは岡山の産地商人だ。その後、備後地区や熊本八代地区の産地商人が日本から中古の織機を持ち込み

共立建設という会社が各地で畳表の製造工場を合弁で作っている。精米機メーカーの中国進出も目立つ。最大手の佐竹製作所は江蘇以下は中国産という棲み分けが急速に進んでいる。

(次ページに続く↓)

(前ページの続き)

企業名	出資比率	事業内容
久保田農業機械(蘇州)有	クボタ90% 丸紅開発機械10%	自脱型コンパイン等農業用機械 及びその部品の製造販売研究開発
連雲港味之素如意食品(有)	味の素60% ライフフーズ10%	日本向け冷凍食品の製造・加工
連雲港高羽紫菜(有)	小浅商事25% ヤマコ25%	海苔の養殖・加工
連雲港来福如意食品(有)	ライフフーズ255	冷凍野菜の製造
連雲港泰山島紫菜(有)	小浅商事27.5% ヤマコ27.5%	海苔の養殖加工
連雲港神仙紫菜(有)	小浅商事33.3% ヤマコ33.3%	海苔の養殖加工
連雲港仙橋紫菜(有)	小浅商事25% ヤマコ25%	海苔の養殖加工
南通丸宏農用化工(有)	丸紅60%	農薬の製造販売
南京共浦草席(有)	共立建設70%	畳表の製造
坂田種苗(蘇州)有	サカタのタネ92% 日商岩井8%	種子の生産・販売・育種
佐竹機械(蘇州)有	佐竹製作所100%	穀物調製加工機の製造・販売
蘇州山村蔬菜園芸(有)	山村産業	野菜の水耕栽培
洋馬農機(中国)有	ヤンマー農機49% セレイ工業21%	コンバイン等の農業機械の製造・販売
鎮江日清調味品(有)	日清製油47.6% 三菱商事10%	ごま油、調味料の製造
永進冷凍食品(有)	マルハ16.4%他82	冷凍農産物、冷凍調理品、FD製品の製造
鄭県農豐草製品廟	共立建設	畳表の製造・年産30万枚
南京共浦草席(寧波分公司)	共立建設75%	畳表の製造・年産30万枚
寧波大榮食品(有)	ダイエー50% 味の素10% 丸紅10%	冷凍野菜の生産
寧波馮旺蘭草製品廟	共立建設	畳表の製造・年産10万枚
寧波海鮮食品(有)	ホテイフーズコーポレーション18.1% 三井物産18.1%	缶詰の製造・販売
寧波海龍罐頭食品(有)	川鉄商事19%	加工食品の製造
寧波信龍蘭草製品廟	共立建設	畳表の製造・年産10万枚
浙江得清越菱食品(有)	三菱商事100%	タケノコ水煮・他野菜化工
興隆草製品製造公司	共立建設	畳表の製造・年産20万枚
舟山興業(有)	マルハ49%	漁業、水産加工、農産品加工等
舟洋漁業合營会社	マルハ45% 舟山興業45%	漁業、養殖、及び漁網の製造
大一電材(有)	大一電材100%	中国の水産物加工及び技術指導
福建龍和食品實業(有)	仙波液糖化工業19.5%	急速冷凍及び乾燥野菜果物・水海産物の加工
福建新鳥龍飲料(有)	豊田通商24.5% 伊藤園19.5% 他5%	烏龍茶飲料の製造・販売
沙利食品(龍海)公司	サリ100%	乾物、酒のつまみなどの工場の運営・管理
廈門華日食品(有)	高砂香料工業42%	食品飲料原料の製造販売
廈門來福如意食品(有)	ライフフーズ49%	冷凍野菜の生産から加工、販売のトータル事業
廈門龍和(有)	日本水產25% 大一電材5%	中国の水産物、農産物の加工製造
山東安吉丸食品(有)	あじかん100%	味付けかんぴょうの製造
黃龍種子公司	タキイ種苗	ハイブリッド品種栽培、実験農場
菜陽伊天果汁(有)	伊藤忠商事90.2% 日本国際協力機構9.8%	リンゴ果汁の製造販売
青島亞是加食品(有)	加ト吉	冷凍野菜、冷凍加工野菜の製造
青島國際種苗(有)	キリンピール45% トキタ種苗5%	種苗の生産・販売及び新品種開発
青島石垣食品(有)	石垣食品100%	肉関係加工食品の製造販売
青島鷗井食品(有)	カモ井食品工業51% 住金物産26%	野菜加工食品の製造販売
青島加ト吉食品(有)	加ト吉100%	冷凍野菜の製造
青島普德食品(有)	プリマハム60% 伊藤忠商事7%	食肉加工品の製造
青島青紅食品(有)	丸紅76.1% 東洋物産9.2%	コンニャクの製造販売
青島万協食品(有)	協同食品15% 岩谷産業15% 東邦物産10%	冷凍調理食品の製造・販売
青島雅優益食品(有)	ヤヨイ食品75% 伊藤忠商事15%	ロールキャベツ、鶏肉等冷凍食品の製造
青島青安食品(有)	あじかん93.4%	農産物加工
榮成源運水產(有)	北州食品12.5% 加ト吉12.5%	魚類加工
山東龍藤不二食品(有)	不二製油40% 伊藤忠商事25%	油揚げ及び加工食品の製造・販売
山東美好食品(有)	プリマハム51% 伊藤忠商事6%	食肉加工品の製造
山東日冷食品(有)	ニチレ166%	冷凍食品製造
山東日清食品公司	日清食品65%	ネギ、人参、キャベツ等乾燥野菜の製造
Shangdong Luling Juice Co.Ltd.	三菱商事30%	リンゴ他果汁の製造販売
維坊石垣食品(有)	石垣食品68.5%	肉関係加工食品の製造販売
威海威和水產食品(有)	トータク48% 共和資材2%	海産物の養殖・加工・野菜の加工
煙台寶昌食品(有)	宝幸水產54.8%	水産・野菜等の冷凍食品及びその他加工食品の製造・販売
Yantai Santfu Organic Compound	三井物産アグロビジネス32% 三井物産32%	有機複合肥料の製造と日本向けの販売
煙台新興食品(有)	加ト吉60%	米飯調理加工

省に穀物調製加工機の製造・販売の会社を設立した。同社は北京に大阪第一食糧と協同で精米工場を建設。製粉、米穀会社が協同で会社設立のケースもある。上海に設立した群馬製粉、東洋糧穀、丸三米穀、岩谷産業の米粉加工・販売会社だ。三菱、三井など総合商社

が資本参加している精米工場が日本向け良質米を生産する東北二省（遼寧省、吉林省、黒竜江省）に展開する。

機械及びその部品の製造販売研究開発会社を設立した。上海ではコンバイン生産の合弁会社を設立した。いずれメーディンチャイナの農機が日本に逆輸出される日もそろ遠くないかも知れない。

産業界の中国に対するスタンスはここ1年で大きく変わった。中

国を単なる脅威として感情的にとらえるのではなく、中国をワールド・マーケットにどう組み込んでいくかという現実論にシフトし始めてきたのだ。これは農業の場合でも同じことが言えるのではないか。うか。

が資本参加している精米工場が日本向け良質米を生産する東北三省（遼寧省、吉林省、黒竜江省）に

機械及びその部品の製造販売研究開発会社を設立した。上海ではコンバイン生産の合弁会社を設立し

国を単なる脅威として感情的にとらえるのではなく、中国をワールド・マーケットにどう組み込んで